



NO. 854  
 発行  
 2015年  
 6月29日  
 国鉄労働組合  
 新潟地方本部  
 発行責任者  
 上石 昌彦  
 編集責任者  
 教 宣 部

# 一歩でも前へ動き出そう

地本、組織強化・拡大経験交流集会が、6月20日14時から地本事務所で開催、地本全体で23名が参加しました



今回は秋田地本へ講師派遣を要請し秋田地本の活動に学び、そして交流を深めました。  
 国労東日本本部から武田組織部長が出席し東日本本部内の活動状況が報告されました。  
 藤井副委員長の開会のあいさつでスタートし、上石委員長のあいさつ、武田組織部長のあいさつ、地本から福富組織部長が行動提起

## 地本組織強化・拡大 経験交流集会開く

をして、秋田地本からそれぞれ活動報告がありました。

秋田地本・高橋副委員長



### 拡大は 通年的な闘いだ

拡大行動は最大の課題、通年的な闘いだ。役員だけの取り組みだったが、全分会オルグの展開から拡大へつながっていった。地本では全9分会のオルグを展開して呼びかけている。

職場では組合説明会を実施した。説明会は早めに取り組まなければならない。駅で説明会を実施したが参加が無かった。しかし新採者へ声をか

秋田地本・高橋業務部長

### さらに訴えていく

けることができた。新採関係の情報について早く把握すること。早急な情報化が重要だ。  
 地本は職場へオルグを実施している。関連労働者も含めて取り組む。青年との交流を深めている。貨物の関連労働者の労働条件改善について申し入れる。正社員化へ。事業所に国労が向出している。ので労働条件改善に向けて交渉。東北ロジは交渉していないが国労の姿をアピールできた。ひとりでも多くの拡大を進めていく。



宮崎さんは父親が国労の役員をしているので、職場に配属された時、国労加入を訴えたが国労加入しなかった。分会に国労組合員が少なかったため。



宮崎さんの仲間は、JRを辞めて「青い森鉄道」に就職した。宮崎さんも「青い森鉄道」に誘われた。本人もいきなかった。  
 宮崎さんは、国労と相談し、大館のテムズへ転勤希望できることから、それで国労に加入しても良いと言った。

宮崎さんへは国労加入するまで加入を訴え続けた。宮崎さんは国労加入から自信が付いて、他労組青年へ国労加入を訴えている。さらに増やして欲しいと言っている。

### 上石委員長 あいさつ

国会で労働者派遣法案が衆議院で可決された。派遣期間が3年の限定から継続して雇用ができるようになった。不安定労働者が増えてくる。まったく良いことが無い。

戦争法案・安保法制について、ほとんどの憲法学者が違憲と言っている。しかし、自民党・与党は憲法を曲げても法案を強行採決に持ち込もうとしている。財界や米国の言いなりになっている。

組織拡大は大きな課題だ。6月に工務協の交流会が新潟で開催された。青年が参加、交流会は、活気があった。新潟地本も明日から一歩でも前へ動き出そう。

(裏面に続きます)





宮崎特別  
あいさつ  
執行委員



10年後・20年後も  
組織を守ってください

入社試験で試験管が、あなたの父親はJRへ受験することを知っているか？と言ったので、私の親父が国労だと合格しないのか？と答えたら、人事課の担当者は、そんなことは無いと言った。それで合格したのかと思っている。

東労組は組合加入を強制した。他労組と話してほしいと言われて不信感を感じた。国労と話をするなどと言われ、親父と話ができないと反論した。東労組は、対会社では無く国労を眼の敵にしている。

東労組の大会で組合批判をした。組合の批判をしていくことによって組合役員にさせられた。

国労加入のきっかけは～「青い森鉄道」に、いきたかったが会社側が職場に来てJRを辞めさせないオルグにあった。辞めるのをやめさせられた。このころ国労が相談にのってくれた。現場長が変わった時に国労加入した。東労組の時、国労の電協交流会に参加し国労加入した。

国労の人たちは、若手の面倒を見切れ無いと思っていると考えているが、この時期に国労加入する青年は、決意して国労加入している。東労組は、国労が動く、それに対して東労組役員は青年を囲みにかかる。

10年後、20年後も新潟地本と交流を深めたいと思っているのでそれまで組織を守ってください。



みんなの意見

○分会組合員の年齢が高くなっている。職場集会を開催するのが精一杯だ。第一歩は、職場集会、三役会議の開催が基本、そこから前に進めなければならない。

今、できることは何か、分会で、できることは何か、議論していく。国労の活動など職場で、組合説明会で訴えアピールしていく。

●北陸新幹線開業で7名が「ときめき鉄道」へ出向になった。ときめき鉄道で、プロパールの見習いの教導になっている。国労が教導になること



は支社も承認している。できるところから活動を進めていく。

ときめき鉄道は、JR西日本の考え方が多く導入されている。人事についてもJR西日本からの出向者が多くなっている。

更衣時間が無い、職場の管理者は分かっているが平気だ。西日本のや

り方・労働条件改善を進めていく。

●JR貨物では他労組へ話はしている。広く訴えている。

○職場では、若手が多くなってきた高齢者が、なじめない状況だ。人間的なつながりを無くさないでいきたい。



●JRが発足してから、JRでの採用者が全体の2/3になっている。世代交代。

職場ではミスが続いている。そのため忙しくなっている。スポーツなどで交流を深めている。

○若手から飲み会に誘われた。職場では、さまざまな問題が発生している。

賃金、労働条件について不満がある。どのような形で進めていけるのか対策会議を開く。出向者の労働条件改善について取り組み、組織化していく。



編集後記

来月から、各定期大会が開催されます。新潟地本も9月に開催します。これから忙しくなりますね。

JAL闘争も今年は正念場です。県内でも各労働組合へのオルグや集会など予定されています。多くの方々から参加していただきたいと思えます。

最近、年齢的な問題で持病が悪くなってきました。健康第一です。昔で言ったら年金生活者ですが、厳しい年金制度なので65歳までがんばらないと駄目です。大変ですね。

